

2026年4月28日  
富士電機株式会社

## データセンター向け事業の強化に向けた海外での配電盤生産能力の拡大について

富士電機株式会社は、海外子会社である富士 SMBE 社（本社：シンガポール）のマレーシア工場で、配電盤の生産能力拡大に向けた設備投資を行いますのでお知らせいたします。

生成 AI の社会実装を背景に、グローバルでのデータセンター市場は 2029 年にかけて年平均 15.1% で成長することが見込まれており（注 1）、電力の安定供給に必要な受配電設備の需要が拡大しています。当社は現在、神戸工場や筑波工場（配電盤および電源装置）、千葉工場（変圧器）、川崎工場（開閉装置）で受変電設備の生産体制を強化しており、今般新たに、富士 SMBE 社のマレーシア工場に配電盤の生産棟を新設します。

富士 SMBE 社はシンガポールを中核拠点に、東南アジアやオーストラリアで、国際標準である IEC 規格に対応した配電盤やサーバー分電盤の設計・生産を行っています。今回の設備投資で、同社の生産能力を 1.5 倍に高めるとともに、クレーンや試験装置を整備し、スキッドシステムならびにコンテナパワートレインユニット（コンテナ PTU）の生産体制を強化します。

スキッドシステムやコンテナ PTU は、配電盤、無停電電源装置、変圧器などを共通架台に艀装して一体化（ユニット化）し、ユニットの状態での搬入することでお客様先での設置工事短縮に貢献する手法です（注 2）。マレーシア工場に導入することで、同社全体でスキッドシステムとコンテナ PTU の生産能力を 4 倍に高めます。

マレーシア工場の新生産棟は 2026 年 6 月に着工し、同年 10 月に稼働を開始する予定です。グローバルで受変電設備の生産体制を強化し、データセンター向け事業のさらなる拡大を図ります。



立ち上げ中の新生産棟  
（マレーシア工場）



スキッドシステム



コンテナ PTU

（注 1）出所「2024 年 7 月 MARKET SHARE REPORT SERIES GLOBAL MARKETS（Structure Research 社）」

（注 2）屋外で使用する場合はスキッドシステムをコンテナに格納してコンテナ PTU として提供

（注）本リリースに掲載している情報は発表日時点のものであり、予告なく変更する場合がございます。